

愚痴

ぐちぐち言うな、愚痴をこぼす、「愚痴」を広辞苑で調べてみますと



色々試した結果
麻が一番
涼しいです。

カネ私

口伝

約二五〇〇年前のインドではお釈迦様はどのようにして教えを説いておられた



のでしょか。

①(仏)理非の区別のつかないおろかさ。
②言っても仕方のないことを言って嘆くこと。言葉。

我々が普段使う「ぐち」は②の意味です。①は仏教の「愚痴」の意味が記されています。

根本的な煩惱の一つです。思うようにならないことを受け入れられない煩惱です。

あるラジオでの人生相談

職場で憧れの先輩と友達になった。ところが、仲良くなると金を貸してくれを言ってきたり、頼みごとが多くなった。憧れの先輩が変わってしまったらいいか。

という相談でした。それに対して解答者は、

変わったのは先輩じゃないよ、あなただよ。富士山が遠くから見ればきれいで、近づくともゴミが落ちているとい

うように、勝手に憧れの先輩のイメージを作って、近づいてみれば違っていたとあなたの認識が変わっ

たんだよ。

と。愚痴の一例です。よくある話で、必ず私に

もあるややこしい煩惱です。



こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。



んか？

ともあれ、お経にはお釈迦様の口伝が説かれていきます。ゆつくりとお経を読んでみませ



ると俗化していきます。

生みだします。社会性や世間体に合わせすぎ

難しいのはバランスです。口伝にこだわりすぎると閉鎖性になります。歌舞伎などの日本の伝統芸能もそれに当てはまります。一部の人のみが継承していくのです。

お釈迦様は、口頭で教えを伝えられました。または、お姿そのもので教えを伝えられました。お釈迦様が入滅された後に、それぞれ言われたことの相違や勘違いが生じてきたため何度も会議が行われ、文字化して残していく作業が行われました。これが經典になっていきます。

その流れの中で、お釈迦様当時のように師から弟子へと口頭で伝えていくことを重視する派も現れました。密教はその部

類にはいります。大切なことや最後の教えは奥義として口伝されるのです。それにより、純粋性や聖性が保たれていくようになるのです。歌舞伎などの日本の伝統芸能もそれに当てはま

ります。一部の人のみが継承していくのです。

難しいのはバランスです。口伝にこだわりすぎると閉鎖性を

生みだします。社会性や世間体に合わせすぎ

ると俗化していきます。

ともあれ、お経にはお釈迦様の口伝が説か

れていきます。ゆつくりとお経を読んでみませ

んか？